



全教職員配布

全釧路情報

2024, 1月



年頭にあたってのご挨拶

全釧路教職員組合 委員長 山口 幸紀

新年あけましておめでとうございます。昨年度は、皆さんにとってどんな一年だったでしょうか。昨年は全国各地で大変な猛暑となりました。最高気温の記録が更新されたり、熱中症の危険が言われたりしました。もはや地球温暖化の時代は過ぎ、地球沸騰化と言われる時代がやってきてしまいました。気候変動の問題は、まったなしの課題です。化石燃料を使った火力発電はやめ、自然エネルギーへの転換を図る必要があります。そして、今できることをただちに実行していくべきです。

そして、猛暑は学校にも大きな影響を与え、暑さ対策が緊急の課題となりました。教室へのエアコンの設置が焦点化したり、気温と湿度によって活動の中止または、制限をする事態も出てきたりしました。そして、来年度から夏休みの延長が検討されています。一方で、子どもたちとともに、猛暑の原因を考え、未来に向けてどうしていったらよいかを考えることも大切でしょう。

さて、私達全釧路教職員組合は昨年、春休み延長、給特法の改正、学校図書館司書設置の3つを重点課題として活動してきました。学習・宣伝、地教委や校長会との懇談、署名などにも取り組みました。特に、春休み延長については、釧路市も4月8日以降の始業の方向で動いているなど具体的な成果が表れています。始業が遅くなることで、先生方の新学期準備をゆとりを持って進め、子どもたちを迎えることができます。そして、要求実現のためには、継続した取り組みが大切だとつくづく感じました。

さて、今年度も私達は教職員の切実な要求の実現のため、活動していきます。教員の大幅増や教員不足の解消、少人数学級の前進、そして、学校司書の配置などが重点ではないかと考えています。教職員の皆さんの要求を束ね、その要求実現のために全釧路教職員組合も先頭に立ってがんばります。皆さんも私達の組合の仲間になり、ともにこうした活動を進めていきませんか。

今年度もどうぞよろしくお願いいたします。



あなたも組合に入りませんか？

わたしたち全釧路教職員組合は、釧路管内の子ども達の教育の環境をより良いものにするため、また先生方の働く環境をより良くするために活動しています。

日常のふとした時に感じる「これっておかしいよね」「どうしてだろう？」という疑問「子ども達のためにはこうした方が良いのでは？」という提案、それらを解決・実現するためには教育委員会と交渉して進めていく必要がありますがその交渉が出来るのが組合なのです。

最近の大きな成果としては、春休みの延長があります。新学期、子ども達を迎えるのに十分な準備をするために必要な時間の確保を粘り強く訴えてきた結果、管内各市町村で1～2日の春休み延長が実現しました。

このように、組合の果たす役割は大きいものである一方で、組合に加入する先生の数も年々減少傾向にあります。「誰かがやってくれるから…」ではなく、あなたも、わたしたちと一緒に歩いていく仲間になりませんか？学べることがたくさんあります。見えなかった景色が見えてきます。

この『全釧路情報』を読んでいるあなた！関心があるなら今すぐQRコードから連絡を下さい！お待ちしております！



この子にはこの本を

「活字」から子どもを離さない

～「厚岸町の学校図書館司書の役割と実践」～

滝川敦善氏（厚岸町教育委員会教育長）

12月16日に釧路のゆきとどいた保育と教育を考える会主催の学習会が行われ、厚岸町の教育長滝川敦善氏による講演がありました。厚岸町では現在学校図書館司書（会計年度任用制度職員）を真龍小学校と厚岸小学校に2名、町独自に配置しています。釧路管内の他市町村に先駆けて配置した先進的な学校図書館司書について、司書を置くまでの取り組み、現在の司書の実践、読書環境整備の必要性などについて、豊富な映像資料も交えて語っていただきました。

厚岸町は貸し出し冊数が全国1位！

～学校図書館司書を置く背景と取り組み～

令和3年度の統計によると人口8千人～1万人の全国の町村における図書の本数貸し出し冊数が全国1位となっています。これは『本の森厚岸情報館』が26年前に開設されてから、同館で開催される映画会や諸講座、年1回絵本作家を呼ぶ企画、聞けばなんでも答えてくれる司書の働きなどにより、町民が本に接する機会が増え貸し出し冊数が伸びてきたものと考えられます。その中で、平成27年に図書館法が改定され司書を置くことが努力義務化されました。それに呼応して、厚岸町として全国に先駆けて学校図書館司書を置く取り組み

みが富澤教育長と滝川指導室長（共に当時）により始まりました。全国の状況を調べていくと、小学校の54.4%、中学校の53.1%、高等学校の4.4%がすでに学校図書館司書を配置しているはありませんか。釧路管内・北海道がいかにか立ち遅れているかを痛感することになります。そこで、議会に向けてプレゼン資料を作り27年度に提出します。28年度は見送られ、30年度に小学校2校への配置が決まります。

この子にはこの本を～子どもがひきつけられる本に出合う取り組み～

真龍小学校の図書室では、時々に合わせて「熊コーナー」「昆虫コーナー」など本だけではない展示を行う工夫がなされています。また「ブルーの本」「グリーンの本」など視覚に訴える方法で、子どもたちがわくわくするにぎやかな展示や運営を心掛けているとのこと。

厚岸小学校の図書室では、各学年の国語授業の進度・単元に合わせて、教科書に載っている本を低・中・高学年の各フロアに置いて、すぐに手に取れるようにしています。また図書室には通常の図書の陳列ではなく、レベル1～レベル7まで文字や文章量に応じて陳列し、子どもが自分のレベルに応じて手に取りやすい工夫をしているそうです。さらに、児童会の図書委員会と連携して「図書アンケート」の取り組み、図書を紙袋に入れ中身が見えないようにして案内カードで選ぶ「クリスマスプレゼント」の取り組みなど、ユニークな活動も紹介されました。

どちらの図書室も司書さんと子どもとの会話があり「〇〇がいいね」などこの子にはこの本をと、その子の興味やタイミングを見て紹介してくれるとのこと。司書さんと子どもとの会話のベースに本があるとのことでした。

「活字」から子どもを離さない

厚岸町では決して予算に余裕がるわけではなく、今年度は10万円という限られた予算の中で、デジタル化された電子図書の導入も図っているとのことでした。たとえ電子図書だとしても「活字」から子どもを離さない取り組みを続けていくとのことでした。



今後の日程

- | | | | |
|----------|--------------|--------|---------|
| 1月13日（土） | 執行委員会 | 10:00～ | 星が浦教育会館 |
| 19日（金） | 選挙管理委員会 | | |
| 22日（月） | 2024年度役員選挙告示 | | |
| 29日（月） | 立候補締め切り | | |
| 30日（火） | 役員選挙公示 | | |
| 2月23日（祝） | 第21回定期大会 | 役員選挙 | |

女性教職員交流会に参加してきました

今年度新たに組合に加入された方が、京都で行われた女性教職員交流集会に参加してきました。その感想をご紹介します。



京都女性交流会

今回の交流会で特に印象に残ったのは齊加尚代さんの講演です。その中でも現在学校現場で行われている道徳教育に対しての話が自分の中に残りました。

道徳教育では「規則の尊重」「公正、公平」「勤労、公共の精神」が特に多く扱われているが、それは「扱いやすい、今の国にはめ込みやすい子どもを育成しているのでは」という話です。そして、それらに偏った内容となり、いざそのルールや規則がおかしい時の声の上げ方は教えない。教育は子どもに希望を与え、教育で大切なことは批判的思考を持った子どもを育てることなのに、今の教育は倫理的で扱いやすい子どもを育て、扱いにくい子どもはどんどん追い込まれているのではないかと。普段、目の前の学習内容や生徒指導、日々の業務で頭がいっぱいになってしまっている私にとってその問いかけは衝撃的でした。

また、映画「教育と愛国」に関する話も興味深かったです。学習指導要領は全国どこでも一定の教育水準が保たれるよう“国が”作成し、教科書は学習指導要領に沿って作られ、国の検定を通ったもの。しかし、実際の教科書作りは「圧力と忖度」で行われている。その話を聞き、改めて政治が教育の現場に介入することのおかしさを感じました。

ただ目の前にあるものだけに向き合い、「教科書に載っているから正しい」と鵜呑みにして子どもに教えるのではなく、教師の立場に立っている自分自身が批判的思考を身につけ、目の前の子どものためになることなのかを考えながら教育に携わっていきたいです。

とてもみずみずしくまっすぐな感性でいまの教育をあらためて見つめ直している、そんな印象を受ける感想です。これからもたくさん学んで良き教師として成長して行ってほしいと感じています。

編集後記

12月16日・17日と続けて「平和に生きる権利は国境を超える」を緊急出版した猫塚医師と室蘭工業大学の清末先生のお話をお聞きする機会がありました。整形外科医と憲法学者という違いはあるものの、パレスチナ支援を行っている立場から、どちらも今ガザで行われている虐殺について鋭く告発する内容でした。人道的にも法的にもイスラエルのしていることは許しがたいことです。これを止めるためには世界中から声を上げることが必要だと訴えに12月24日には全国一斉の宣伝が行われ、釧路でも、街頭宣伝を行いました。何かしなくては！との思いから私も参加してきました。同じ思いの方々が多いにあらうっていました。（古）



発行 全釧路教職員組合 代表 委員長 山口幸紀
住所 釧路市星が浦3-5-40 星が浦教育会館内

Tel 0154-51-0476 fax 0154-51-1667
E-mail zenkushiro@gmail.com